

令和4年度実施分

施策1-1-1	<b>知・徳・体・公の調和のとれた教育を進めます</b>
評価	<p><b>B 概ね順調</b></p> <p>基本事業個々には目標値等下回る事業もあるが、全体的には概ね計画通りに取り組みが進められている。</p> <p>住んでいる地域が好きと答える子どもたちが多く結果には好感が持てる。具体的に好きと言えるものや場所を未来に渡って不偏なものとしていただき、地域づくり、まちづくりにつなげていただきたい。</p> <p>一方で不登校の増加が懸念され、学校での対応も非常に苦慮していることがうかがえる。今後さらに一人ひとりにきめ細かく向き合い、個性を尊重し、地域に誇りが持てるよう児童生徒の育成に期待する。</p>

当局の評価	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	概ね順調	概ね順調	概ね順調

◇施策の進捗評価の目安(4段階)

A 順調	計画どおり進んでいる
B 概ね順調	概ね計画どおり進んでいる
C やや遅れている	計画より遅れている
D 遅れている	明らかに計画から遅れている

<基本事業の評価>

基本事業	方向性	委員会の評価
教員の授業力向上と授業改善	現状のまま継続	授業力向上については学習正答率が全国・県平均を下回っている教科はあるものの、教員個々の資質や指導力向上のため各種研修等を受講しており概ね適切に行われている。今後はタブレット端末の利活用も含めさらに研鑽を重ねていただきたい。
特別な支援を必要とする児童生徒への支援	現状のまま継続	児童たちの個性や特性を踏まえた適切な取り組みが行われている。今後さらに個々に寄り添った支援をするために学校支援員等、関係者と支援内容の情報共有に努められることを期待する。奨学資金貸付事業は希望者全員に貸付されている一方、滞納者の固定化も目立つ。滞納解消に向けた取り組みと、広く活用されるべく丁寧な周知もいただきたい。
不登校・いじめ防止等の対策	改善のうえ継続	不登校に対する研修会や対策会議は行っているが、教育相談件数やスクールカウンセラー相談件数とも減少し、不登校の出現率は増加しているため改善が必要である。学校と家庭の連携は取れていると考えられるが、複雑な家庭ほど学校と離れる傾向にある。児童生徒の心理について専門家の意見を取り入れることなども検討されてはどうか。
豊かな心の育成	現状のまま継続	道徳教育や特別活動等順調に行われ、新型コロナウイルスで中止されていた国際交流事業の再開による効果も期待される。不測の事態にも事業実施できるよう身近な地域での交流の場を設けるなど、これからの国際社会に対応できる人材育成のためにも代替え事業も検討されてはどうか。また言葉の乱れがSNSも含め相当数みられることから対策が必要である。
健康な食生活の実践	現状のまま継続	地元農家の農畜産物を取り入れた自校給食は誇れるものであり今後も継続すべきものである。ただし、欠食率や肥満の増加対策も合わせて行うべきであり、生活習慣病予防の保健指導や家庭における食育活動の啓発にも努められたい。

保健体育の充実	改善のうえ継続	8年連続のメタボワースト1や「う歯」有病率増加等、至急改善すべき点があり、事業を改善のうえ早急に取り組むべきである。また、学校だけでなく家庭など町全体の問題として対策を考えていかなければならない。
基礎体力の向上	現状のまま継続	家庭環境等や新型コロナウイルスの関係で、スポーツをする子しない子の二極化が進んでいる。運動嫌いな児童もいるため、音楽を取り入れたり休み時間を活用した冬期間でも楽しく体を動かせる取り組みが必要である。学校と家庭の連携を深め取り組みを継続すべき。
地域と学校の連携	現状のまま継続	コミュニティースクール事業はまだ始まったばかりで学校においても運営に苦慮されていると思慮される。取り組み状況の成果を今後も注視していきたい。議会においてもコミュニティースクールについて継続して学び、今後の評価に結びつけていく。すなわち町民への周知が足りないと考えられるので一層周知活動されることに期待する。

◇基本事業の方向性(4段階)

- 拡充 : 主に事業の予算規模や事業の対象を拡充することが望ましいもの
- 現状のまま継続 : 事業を現状どおり進めることが望ましいもの
- 改善のうえ継続 : 事業の対象や実施手法等を改善して進めることが望ましいもの
- 見直し : 事業の規模縮小又は休止・廃止を含め実施手法等を検討することが望ましいもの